保育園訪問記

鹿児島市医師会病院　みつばち保育園

理事　**鹿島　直子**

平成25年３月11日、鹿児島市医師会病院に院内保育園が誕生しました。みつばち保育園です。名前はたくさんの応募の中から選ばれました。名付け親は看護師の方です。５年前から着想あり、看護部（250人）を中心に準備を進めてきました。場所の選定も階段は２か所などの消防法の基準を満たして、エレベーターも近くにある新館の３階、眺望のいい明るく、広い場所に完成しました。

運営は株式会社アイグランに委託され、正規雇用の保育士５人が勤務しています。保育理念は―私たちは子ども達に「自分の夢を自分の力で実現できる人」になって欲しいと願っています。―と謳われていました。自主性を育て、個性を大切にして、思いやりの気持ちも育つ「こころの基地」になりたいと願っていると保育方針を説明されました。自然とのふれあい、季節を感ずる心も育つようにと、年間行事予定表は４月お花見、５月端午の節句等々来年３月ひなまつりまで埋め尽くされていました。

会長室で田畑院長、長田看護部長、森事務長、担当事務石垣さんからこれまでの準備経過などお伺いした上で、保育園に伺いました。ゆったりした２室のほか事務室、洗面、シャワー室、かわいいトイレなどすべてまだ新しくピカピカで、清潔でした。定員15人（20人までは可能）、受け入れは０歳から就学前までです。開園時間は基本的には午前７時30分から午

後７時までですが木曜日は終日、終夜開園です。昼食はお弁当持参です。体調に問題がある時には直ぐに小児科医が対応するようになっています。

お昼寝のあと、おやつが終わったところでお子さんたちに会えました。０歳３人、１歳３人、５歳１人でした。親御さんの仕事は看護師だけではなく、医師、薬剤師、事務職など多様です。丁度みんなご機嫌な時間帯で、泣く子もいなくて、どこでもそうですが、私たちを興味深そうに眺めたり、カラフルなおもちゃでお互いに遊んだり、よちよち歩く子、活発に動き回る２歳に近い子、５歳のお子さん（もうすぐ自宅近くの保育園に行かれる）は自分の棚に上着を仕舞いに行ったり、保育士さん２人が見守る中で、自由に楽しそうでした。研修医の方が、奥様がもうすぐ第２子出産のため短時間保育をお願いしていました。朝はお父さんと共に登園、もうすぐママのお迎えの時間とのことでした。体調によっては、なかなか子どもの運動量についていけませんので、これはいい選択です。出産後も同じように安心して利用できます。このような事が可能であるのも、院内保育施設のメリットです。また男性薬剤師の方のお子さんもおられました。女性に限らず、同じ職場で働く人たちの子育てサポートをする環境がすでに実現していました。多様な利用の仕方に対応できるのも自分たちの職場の保育園であるからでしょう。

これからもお子さんにも、その親御さんたちのためにもしなやかで、多様性に富んだ、楽しい保育園の運営が可能であり続けるように、院内皆さまのご支援がありますようにと祈っています。

田畑院長先生はじめお会いいただいたみなさまありがとうございました。